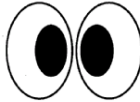


発行・編集 ミニコミ編集委員会
責任者 齋藤和子
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 3482-0341
2010.3 No.87号



まちの目が
安全・安心を守っています



船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区身近なまちづくり推進協議会
青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城防犯協会



ちとせ



観音堂の宝もの

平成24年に船中と希望中が統合されて 船橋に新しい中学校が開校します



平成24年3月、船橋中学校と希望丘中学校はそれぞれが閉校し、平成24年4月に統合され、新校として生まれ変わります。

昨年7月、世田谷区教育委員会と関係する中学校、小学校、地域の代表の方などで構成された新校準備会（委員長・額賀一哲さん）が立ち上がり活動しています。また統合後の新校の生徒は2年間、現在の希望丘中学校を仮校舎として使用し、現在の船橋中学校は改築します。改築については「船橋中学校改築基本構想検討委員会」が立ち上がり、すでに近隣向けの説明会も昨年11月30日に開催されました。工期は24年から2年あまりの予定です。

統合の動きは「新校準備会だより」「現船橋中学校 学校改築だより」（回覧板や学校から配布）で報告されています。これからの地域の教育のあり方に、関心を寄せていきたいですね。



鉦3点



数珠



江戸時代のものとしては、領主であった旗本山本氏時代の鈴木家文書があり、船橋で唯一の世田谷区指定の有形文化財になっています。さらに東覚院、宝性寺にある仏像や石仏の多くも江戸時代のもので、また江戸時代末期から明治時代に建てられた古民家が数棟現存しています。今回取り上げた船橋観音堂は、明応年間（1492〜1500）に建設されたと伝えられていますが、現在、堂内にある厨子（写真）は極めて精巧な彫刻と金箔が施された古いものです。また、江戸時代に流行した双盤念仏の行事の際に使われた鉦（かね）が3点遺されています。いずれも船橋の歴史文化を伝える貴重な文化財です。

船橋の文化財

船橋の歴史は古く縄文時代にさかのぼる遺跡が確認されています。南北朝時代から室町時代にかけて作られた板碑（いたび・中世の供養塔）が東覚院と宝性寺などに伝わっています。天文22年（1553）の古文書には「旋沢之内船橋谷（めぐりさわのうちふなばしがや）」という記述があり廻沢（現千歳台）、船橋の初見といわれています。



弘法大師像



厨子



どこ？だあれ？おしえて！



希望丘中から

どっ？だあれ？…その結果
答えは・・・船橋6丁目23番あたりにあった牧場だろうということになりました。
情報提供は希望ヶ丘団地在住のS氏・・・団地建設当時のまだ建物がたつ前の建設地の写真を撮っておられ、その中の一枚から始まり、たどりつきました。八幡山のT氏から写真の方の名前でわかりました。
希望丘中学校屋上プールから写した写真と比べてみると、ほぼガスタンクの位置があつてることがわかります。この延長線上が船橋6丁目23番あたりになります。

〜〜 名誉な賞を頂いて 〜〜

本年1月18日に東京消防庁にて「地域の防火防災功労賞」表彰式が行われました。この制度は町会自治会、学校、事業所などの防火防災に関する取り組みについて募集し、広く都民に紹介するために平成16年6月に創設され今回は6回目となります。船橋会は成城消防署の推薦により応募し応募総数148団体の中から最優秀賞4団体の一つに選ばれました。当日、斎藤会長と鈴木副会長は成城消防署長と式に参列し消防総監より、賞状及び副賞を授与、多数の関係者から祝福を受けました。受賞要因は①継続的に防災訓練を実施している。②船橋中学生の救命講習費用を町会が負担し災害発生時の若いパワー育成に寄与している。③消防団可搬消防ポンプ積載車の購入に対する積極的な助成④住宅火災警報器設置促進に、消防署員とローラー作戦を展開したことなどが、学識経験者等で構成する選考委員会の高い評価に結びつきました。

この受賞を契機にさらに地域防火防災の向上を推進して行きたいと思ひます。
船橋会



子どもたちが 寶性寺・観音堂などをまち探検！
12月19日、晴れ渡った冬空の下、子どもぶんか村「まち探検くらぶ」の小学生たちが、地域資産をたずねました。案内役は船橋まちづくりセンターの河原所長にお願ひしました。案内役は船橋は湧水が多く、地下水が豊富で、そのおかげで庭園に200本以上の樹木が茂っているのだということでした。
観音堂では、厨子や仏像を拝見しました。子どもたちは、大きな念仏の数珠や鉦を触らせていただきました。お庭には、希望ヶ丘団地を建てる時に本村橋近くから移してきた庚申塔がありました。
最後に100年以上も前に建てられた農家、鈴木さん（船橋3丁目）のお宅へ。太い梁がとおり今もどっしりと建っています。もうすぐ建て替えられるそうです。子どもたちは邸内やお庭にあつた祠を興味深そうに見学させていただきました。昔の船橋の生活を想像しながら、楽しいまち探検ができました。

あなたの出すごみに責任を持ちましょう！

集積所あれこれ・・・

～～あなたのごみ袋に名前が書ける？～～

7軒で共同利用していたGさんが利用するごみ集積所は、一週間交替で当番が回ってきたそうです。当番の朝はごみネットを集積所に出しに行き、ごみが収集された後はすぐにごみネットを家に持ち帰る。出勤前の忙しい朝には負担を感じることも多かったとか。そこで戸別収集してもらえないか、清掃事務所に相談したそうです。清掃事務所では戸別収集はできないとのことでしたが、現在そのごみ集積所を利用している人の合意が得られ、収集作業に大きく影響がなければ分散することができること。幸いにも7軒全員の承諾がとれ共同のごみ集積所は廃止になり、2軒ごとの収集が行われることになったそうです。



清掃事務所の「ふれあい指導」

清掃事務所は住民の皆さんの相談により協力を得ながらごみの排出ルールの浸透とマナー向上に取り組んでくださいます。相談は清掃事務所へ

(砧清掃事務所・03-3290-2151)

我が家は、袋小路の私道を入った一番奥にあります。毎朝ごみの日は、300メートル先の通りに面した集積所までごみを運びます。この集積所は、25軒ぐらゐの戸建て住民が利用し、収集日には、いつも大型ネットでは覆い切れない程の、ごみの山が出来上がります。夏場は近隣の方々に、臭い問題で迷惑をおかけしていると思います。また、通行人の景観を損ねているようにも感じ、戸別収集を望んでいます。大型車がやっと一台通れる程の道幅では、難しいのかも知れません。幸い、現在は収集時間が早いためか、カラスの被害はそれ程でもなく、向かいの会社の方がよく掃除をしてくださり、そのご好意に何年も甘えています。この集積所をこれからも利用していくのだと考えると、ごみの分け方・出し方を守り、ごみを減らす暮らしを心がけたいなと思います。



子どもぶんか村 音楽くらぶコンサート
平成21年12月20日 成城ホール
友情出演 世田谷区立船橋中学校吹奏楽部
& 世田谷区立希望丘中学校吹奏楽部
主催/青少年船橋地区委員会

子どもぶんか村“音楽くらぶ”は、コーラス・オーケストラ合同コンサートを開催しました。ベートーベン第九第四楽章を合唱付きで演奏しよう、第九といえば年末、素敵なホールで、と1年がかりで準備をしました。船橋中学校・希望丘中学校の吹奏楽部も友情出演することになり、船橋地域で音楽活動をしている青少年が集まったのコンサートになりました。「皆上手だった、輝いていた」とのおほめの言葉や、「学校・地域がひとつになって楽しかった！」とのお客様の感想を頂き、音楽の“和・輪・話”がまた広がりました。

予告・・・です 「第5回子どもぶんか村発表会」

平成22年3月28日(日)

会場 船橋小学校
午前9時開場 入場無料

主催/子どもぶんか村発表会実行委員会



地域の子もたちが、オーケストラ・コーラス・演劇・映像・まち探検・いけ花・茶道・古典・子どもきっさ・ものづくり、などの活動を舞台や展示で発表します。

子どもたちの元気な姿をぜひ観覧・応援してください。

上履きをご持参ください。



船橋地区社会福祉協議会 「たより2」

船橋小学校図書開放・・・

毎週 土・日に図書室を開放しています。お問い合わせの上おいでください。

問合わせ 3426-3356



歳末たすけあい募金
2,977件、
1,773,778円
の募金が集まりました。
ご協力ありがとうございました。

怪我をされたおばあさんを温水プールで手当て

冬の黄昏どき、帰宅を急ぐ途中のことでした。千歳台交差点の歩道橋で、ひたいから出血されているおばあさんに出会いました。聞けば、住所は狛江市、年齢は87歳、ひとりで歩いているうちに暗くなり、迷子になってしまったとのこと。名前も住所もしっかり覚えておいでですが、けがをされたことには気がつかないそうです。

私はお声をかけたものの、成城署か、民生委員の方にお問い合わせするべきか・・・と思いを巡らしながら歩道橋の上から夕方の闇を眺めました。すると、千歳温水プールの明かりが目飛び込んできました。

公共施設なら、おばあさんの凍えた体を温められる思い、とり合えず、とプールにお連れしました。すると、すぐに若い職員の方が数人で駆け寄り、救急箱を取り出して手当てをし、成城署に連絡もしてくださいました。私はお巡りさんが到着する前に帰宅しましたが、後日プールの職員の方からお電話でご報告までいただきました。

町の一員である公共の施設の方が、心強い存在であることを経験しました。千歳温水プールのみなさん、本当にありがとうございました。(M)

~~~~~編集後記~~~~~  
今年の寒期にはそれほど気温の低い日はなかったのに、節分、立春の季を迎えた途端に朝は霜柱が立ち氷が張るほどに冷え込み、日中の気温も7度以下の日が何日も続き、雪まで降りました。気候の変動はCO2の削減だけでは解決されない自然エネルギーの底知れぬ流れがあるように感じます。  
ミニコミ紙の創刊は1982年5月、年3回の発行で今年の3月で87号になります。次年度の発行は30周年を迎えることになりました。  
その創刊号に「住民の方がたのコミュニケーションを深めるために・・・」と認められています。この視覚言語の役割を持つミニコミ紙が、意思疎通に効を奏したのでしょうか。  
5・6年ほど前のことです。「こんな新聞だれも読まないし、塵になるだけ」という声か或る地域からあがり、町会役員の配慮により各戸配布から回覧に変更されました。  
つい最近、このミニコミ紙の記事を媒体に民間篤志家の組織が高校と連携して或る活動をしたと聞きました。編集委員冥利につきる話です。  
このミニコミ紙は、この地域で時空を共有する人びとに知って頂きたい内容を満載しています。地域の安心安全は、個人が社会意識の高さと相俟って、住みよい町や文化の高揚に地道な活動を続けて下さる町会・自治会・その他様々な組織があり、紹介もしてきました。  
世の中を常なきものと今ぞ知る船橋のまちの移ろふみれば(万六の振り)これからもミニコミ紙は移り変わる町の様子や諸々の情報をお伝えしていきます。町とともに歩みます。又、初志の目的を町に住む皆さまと共に深めたく努力して参ります。無償の愛にて。  
地域の方がたに知って欲しいこと、ミニコミ紙に対するご意見などをお寄せください。お待ちしております。